

ベンフラカルブ粒剤 オンコル粒剤 5	取扱メーカー： OAT, ホクサン, 一農, 琉産 原体メーカー： OAT
成分： ベンフラカルブ〔カーバメート系 PRTR・1種〕…5.0%	性状： 青緑色細粒 毒性： 普通物 消除法： ——

【品目特性】

- 浸透移行性の高い薬剤で、食毒と接触毒の両作用を持つ。
- 広範囲の害虫に有効であるが、なかでもイネミズゾウムシ、ミナミキイロアザミウマなどに優れた効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

〈水稲の育苗箱施薬の場合〉

- 専用計量箱で所定量を計り、均一に散布する。
- 苗に付着した粒剤は、払い落とす。
- 軽く散水し粒剤を培土表面におちつかせる。
- 運搬～田植機装着の作業中、粒剤が落ちないように注意する。

〈野菜・花き類の場合〉

- 専用スプーンで正しく計量し均一に散布する。
- 株元処理は、土壌表面に適度な湿り気がある時に行う。
- 植穴処理及び植溝処理は、土壌と混和するか、又は間土をおく。

【薬効・薬害等の注意】

〈水稲の育苗箱に使用する場合〉

- 適用作物（育苗箱施用の水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

〈たばこに使用する場合〉

- 適用作物（たばこ）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 魚類、甲殻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 共通注意事項 7. ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含 む農薬の総使用回数	
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ イネハモグリバエ	30～60 g ／箱*	移植前 3 日 ～移植当日	1 回	育苗箱の上 から均一に 散布する。	1 回	
	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ セジロウンカ	50～80 g ／箱*			株元散布		
	イネシンガレセンチュウ	60 g／箱*					
	とうがらし類	ミナミキイロアザミウマ					0.5 g／株
ひろしまな	アオムシ モモアカアブラムシ	1 g／株	育苗期後半		全面土壌混和		
メキャベツ 非結球メキャベツ	アブラムシ類		定植時				
らっかせい		9 kg	は種時				株元土壌混和
さといも	コガネムシ類幼虫	6～9 kg	生育期 但し、収穫 60 日前まで		株元土壌混和		
	アブラムシ類		植付時		植溝土壌混和		
	さとうきび		コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ類 メイチュウ類		6～9 kg	培土時	株元散布又は 株元土壌混和
カンシャコバネナガカメムシ	6 kg	収穫 100 日 前まで	散布				
飼料用さとうきび	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ類 メイチュウ類	6～9 kg	植付時		植溝土壌混和	1 回	
	コガネムシ類幼虫 メイチュウ類	9 kg	培土時		株元散布又は 株元土壌混和		
花き類・観葉植物 (きく、ストックを除く)	アザミウマ類	4～6 kg			生育期		3回以内
きく	ミナミキイロアザミウマ	6～9kg	定植時		1 回	植溝土壌混和 又は株元散布	4 回以内
	ミカンキイロアザミウマ	9kg	生育期		3回以内	株元散布	
	アザミウマ類	6kg					
	ストック	コナガ	9kg 0.5g／株		定植時	1 回	
	アザミウマ類	6kg	生育期	3回以内	全面土壌混和 又は株元土壌 混和 株元散布		
つつじ類	コガネムシ類幼虫	9kg	定植時	1 回			
しゃりんばい	ナシミドリオオアブラムシ	6kg	生育期	3回以内			
むくげ	ワタアブラムシ		定植時	1 回	株元散布		
たばこ	アブラムシ類 アザミウマ類					3～6kg	

* 育苗箱は 30×60×3cm，使用土壌約 5 ℓ